



さつまいも苗植え(環境)



泥だんご(環境)

授業風景



保育力支援特別教室製作活動(魚作り)



お店屋さんごっこ(保育原理)

CONTENTS

2021年度 聖句

「主において常に喜びなさい。
重ねて言います。喜びなさい。」

(フィリピの信徒による手紙第4章4節)



佐藤守男 学長(新入生の皆さんへ).....	2
和泉の実習への取り組み.....	3
TOPICS.....	4
2021年度 新任教職員紹介.....	5
2020年度決算書・2021年度予算書 概要.....	6-7



新入生の皆さんへ

学長 佐藤 守男



「緊急事態宣言」及び「まん延防止等重点措置」が繰り返し発令される中、「和泉短期大学第57回児童福祉学科入学式」並びに「第12回専攻科介護福祉専攻入学式」が、無事に行われましたこと心より感謝申し上げます。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございませう。

今年度の入学式は「三つの密」を避けるために、午前と午後に分けて2度行いました。そして、児童福祉学科221名、専攻科介護福祉専攻20名の新入生を祝福のうちに迎えることができました。この新入生に新2年生190名を加えますと合計431名となり、現在この学生たちがコロナ禍に負けないで、元気に本学で学んでいます。

さて、現在流行しているこの「新型コロナウイルス感染症」は、感染力が強く、世界中に広がる「パンデミック」と言われるものです。主な感染経路は、飛沫感染か、接触感染だといわれています。以前は、基礎疾患を持っている方や高齢者に重症化の危険性があると言われてきましたが、現在ではより感染力の強いイギリス型やインド型変異ウイルスが猛威を振るい、皆さんのような若い人たちにも重症化するケースが報告されています。

で、気を緩めないで頂きたいと思えます。本学は今まで大きなトラブルもなく、安心安全に過ごしていますが、多くの若い学生と教職員を抱えていますので、ワクチンが十分に行き渡るまでは、引き続き「検温」「マスクの着用」「手指の消毒」「ソーシャルディスタンスの確保」を皆さんにもお願いしたいと思います。

本学は、6月に学生や教職員、近隣の幼稚園や保育園、住民を対象とした「新型コロナウイルスワクチンの大学拠点接種」の実施を考えてきましたが、政府が受け付けを休止しましたので、見送ることにしました。

このコロナ禍で世界中の大学生たちは、「対面授業」の機会が大きく失われました。また、通常の大学生活に制限がかり、海外に出ることも難しくなり、課外活動やアルバイトなどもできなくなり、様々な社会経験を積む機会を失っています。

多くの大学が「オンライン授業」を進める中、本学は保育者養成校として「対面授業」の重要性を考えてきました。そして、昨年6月より感染予防対策として分散登校をしながら、「対面授業」と「遠隔授業」を合わせた「ハイブリッド型授業」を進めてきています。

しかし、この「ハイブリッド型授業」を進める中で分かってきたことは、皆さんの学習課題が多くなることと、教職員の負担も想像以上に大きくなっていることです。今年度も、同じような形で授業を

進めていますが、改善できるところはすぐにでも改善したいと思います。

また実習も、実習先との強い信頼関係がありますので、実習先と協力し合い、そして、文部科学省、厚生労働省の指導に沿いながら、昨年度は実習させて頂きました。今年度も世の中の変化に対応しながら、実習できるよう実習先をお願いしていくつもりです。

このように世の中は、私たちの経験したことのないような「パンデミック」の中にありますけれども、和泉短期大学と致しましては、感染予防対策を講じながら、皆さんの学修する機会を何とか確保していくつもりです。そのためにも教職員全員で日々検討を重ね、良い方針を探っていきますので、今は大変かと思いますが、皆さんにも、ご理解・ご協力をお願いしたいと思います。

結びに、和泉短期大学は今年5月15日で創立65周年を迎え、卒業生は19,623名(2021年3月)となりました。多くの卒業生たちはこのようなコロナ禍にありましても、保育者や施設職員として素晴らしい働きをしています。

和泉で学び始めた皆さんも、先輩たちと同様、本学で学んだ「専門的な知識や技術」を生かし、社会に貢献してくださいることを願っています。

和泉の実習への取り組み

コロナ禍における実習での学び

実習サポーター長 准教授 矢野 由佳子



本学に入学した学生のほぼ全員が、幼稚園教諭二種免許と保育士

資格の取得、そして保育・福祉職に就くことを希望しています。このことから、授業を担当する教員の豊富な現場経験に基づく話題も学生に響きやすく、実習への意欲に向かうと感じています。また、2年間を通して学内での学びと実習を交互に経験する中で、学生の理解がより深まっています。実習サポーターセンターでは、学生の実習に関わる事務手続きを中心に、書類の提出や報告・連絡・相談といった社会人としてのマナーを意識する場として、学生の指導と支援にあたっております。

昨年度からは、コロナ禍での実習機会の確保、そして分散登校など授業形態が変動する中でいかに実習に向けた心構えと準備を整えていくかという課題と向き合っています。2020年度生は、2021年1月に発出された緊急事態宣言に伴い、1月と2月に予定していた保育実習を大幅に短縮し、保育所は5日間、施設実習は全日程を学内演習に振り替えました。驚いたのは、そのことを知った上級生から真っ先に「残念だ

ね」という言葉が聞かれたことです。学生にとって実習が貴重な学びの機会であることを再認識しました。

実習の機会は減ってしまいました。施設実習に代わる学内演習の一部として行った特別授業での反応や、5日間の保育所実習のふり返りなどから、学生の実習に対する思いや意欲が十分に感じられました。学生たちのこの熱い思いを何らかの形で補充できないか学内で検討し、教務委員会の協力を得て、2021年5月に「児童福祉アクティブラーニングウィーク」という初の試みを行いました。実習に行く予定であった施設や保育所へ2日間の学外演習をお願いし、快く引き受けて下さいました。内容は見学・観察を基本とし、記録は学内の実習指導担当教員が添削をしました。施設は実習を楽しみに行っていた学生も多かったため、実際に体験することができて良かった、楽しかったという声も多く聞かれました。そして保育所は5日間実習をさせていた後なので、子ども達が覚えていてくれて安心した、進級した子ども達の姿を見て短期間ではあるが成長を感じた、という声などが聞かれました。受け入れられて下さった施設と保育所の皆様には、改めて感謝申し上げます。

6月には、教育実習を予定通り15日間の日程で行いました。感染が拡大傾向にありましたが、多くの園で受け入れにご協力いただき、無事に終了することができました。コロナ禍にあっても感染対策を工夫しながら保育が通常通り行われていることを学生も感じ取ったのではないかと思います。また、学生にとっては、長い日数を無事に終えられたことが自信につながる意義深い実習だったようです。実習後に会う学生たちの様子から、ひと回り成長して帰ってきたことを実感しております。

実習先の皆様におかれましては、感染に対する様々な配慮や緊張が続く中、実習生の指導にご尽力いただけますことに感謝申し上げます。実習を通して、保育の楽しさや奥深さ、そして保育・福祉職は、その人自身が成長し続ける可能性を持った素晴らしい職業であることを学生が感じ取り、自分が選んで目指している職業に誇りや希望を持つ機会になるとを願っています。1日も早く日々の保育や支援に安心して取り組める日常が戻ることを願い、学内での指導は変わらず丁寧に行って参りたいと思います。

実習を通して

児童福祉学科 秋田 理咲子

(県立上溝南高等学校出身)



幼稚園実習を行わせていただき、三週間の間に沢山の事を学ぶことができました。私の目標は子どもと関わる上で保育者としての流れを掴むことでしたが、はじめは一日を過ごすことで精一杯で、動きの意図があまり掴めていなかったように思います。そこで何の為に実習に行かせて頂いているのかを考え、保育者の動き一つひとつに疑問を持つことが大切だと気付いてからは細かい気配り、声掛けの工夫している点に気が付くことが出来、少しずつ実践に移していくことでお褒めの言葉を頂いたり、学びが身に付くとそれだけ実習のモチベーションにすることが出来ました。今回の経験を忘れること無く、日々学んでいきたいと感じています。

専攻科介護福祉専攻 大井 瞳

(県立相模原総合高校出身)



私は特別養護老人ホームで実習させていただきました。高齢者施設での実習は今回が初めてで、不安もありましたが、施設の職員の皆様が優しく指導してくださり、安心して実習に臨むことができました。特に認知症の方や失語のある方とのコミュニケーション、利用者の方一人ひとりの生活習慣に合わせた介護、自立支援について学ぶことができ、学校の授業では学ぶことができない知識や経験をさせていただきました。6日間という短い期間でありましたが、1日1日が大切で私にとってとても貴重な6日間でした。実習をおえて更に介護についての学びを深めたいという気持ちで芽生えました。今回の経験をこれからの学びや今後の実習に生かして行きたいと思えます。

「コロナ前の学生生活に
一日も早く戻ることを願って」

後援会副会長 篠原 俊正

和泉短期大学後援会の篠原と申します。皆様には日頃より後援会の活動に多大なご高配をいただき感謝申し上げます。

今学生たちは新型コロナ感染拡大の影響をまともに受け、授業や実習はもとより、学生生活においても様々な活動の制限または自粛を強いられています。

さらに感染力が強いとされる新たな変異株は、特に若い方々を中心にその猛威を振り始めました。最近ワクチン接種が進み希望の光が差し始めたとはいえ、残念ながら収束にはまだいくつかの山があるように思われます。

このような厳しい環境下で和泉の学生たちが感染から守られ、コロナ前の学生生活に一日も早く戻ることができるようお願いを込めて、このたび「足踏み式消毒用スタンド」を寄贈させていただきました。学生の皆様にはしっかりと感染防止に努めていただくことを切にお願いいたします。

末筆となりましたが、神様に皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、寄贈のご挨拶とさせていただきます。



TOPICS

2021年度高校教員進学説明会

2021年6月15日(火)、本学にて高校教員進学説明会を開催しました。本学の概要説明、2022年度の入試説明の後、個別相談、学内見学をしていただきました。

コロナ禍の中にもかかわらず神奈川・東京・山梨・静岡の高校から58名もの進路指導の先生方に参加いただきました。



2021年度 学校法人和泉短期大学創立記念フェア、サマーフェア開催

2021年5月17日(月)、19日(水)に、「創立記念フェア」(通算25回目)、7月5日(月)、7月12日(月)に「サマーフェア」(通算26回目)を開催しました。分散登校を実施中のため、多くの学生に参加していただけるよう、各フェアとも2日間にわけて開催しました。

イベント内容

・100円ランチメニュー 創立記念フェア「和泉特製タコライス」「バターチキンカレーライス」、サマーフェア「ハワイアンロコモコ」「麻布十番満点星監修 欧風デミグラスカレー」。キャンパスコンビニ全商品20% OFF。



避難・防災訓練

2021年6月7日(月)に、公益財団法人 相模原市まち・みどり公社、青葉二丁目自治会共催による、避難・防災訓練を実施しました。

訓練用の煙が立ち込める校舎から、避難集合先の湘野辺公園へ避難しました。全員の避難を確認した後、キャンパスに戻り、敷地内に設置されている防災井戸から飲料水を造るデモンストレーションと試飲をしました。保育者・施設職員を志望する学生が多い本学では、避難訓練を貴重な学びの機会と捉えています。



就職説明会・卒業生を招いての就職懇談会を開催

7月10日(土)「キャリアデザインⅡ(2年生)」の授業において、相模原市幼稚園・認定こども園協会(会長黛裕治先生)と相模原市保育連絡協議会(会長小磯英次先生)の先生方をお招きして、就職説明会を開催しました。

幼稚園教諭・保育士・保育教諭として活躍する本学卒業生が「現場でのやりがい」、「仕事内容」などをお話しくださしました。2年生は、就職活動を前にして熱心にメモを取り、質問をしながら先生方の話を聞いていました。

また同日、「卒業生を招いての就職懇談会」を保育所、幼稚園、認定こども園、放課後等デイサービス、障がい児入所施設で活躍する卒業生6名と専攻科介護福祉専攻2名の在学学生を招き開催しました。

卒業生からは、就職活動の進め方、就職先をどのようにして選択したか、現場に出てからの経験談などのお話があり、専攻科生からは、専攻科進学の実態や介護実習についてなどを各教室で講演していただきました。



学校法人和泉短期大学 永年勤続表彰者

学長 佐藤 守男(勤続30年)



35歳からの30年間を和泉短期大学の教員として務めさせていただきました。

振り返ると当時の学生たちの顔が次々と浮かんできます。現在皆さんは社会人となり、保育者として、施設職員として、あるいは親として、それぞれ立派に社会に貢献しています。皆さんは、和泉短期大学の財産であり、私の誇りでもあります。皆さん、くれぐれもお身体を大切に、健康で長生きしてほしいと思います。このコロナ禍に負けないで共に頑張りましょう。

准教授 佐藤 美紀(勤続15年)



このような表彰を頂きましたこと、これまで支えてくださった皆様により

感謝申し上げます。一人では歩めない道なのでした。また、和泉短期大学で教員としての機会を与えてくださったことは、いつしか私の誇りへと変わっていくつあります。

和泉福祉専門学校で介護を学び、職場経験を経て現在の養成校教員の道を志して参りました。学生の頃先生方に教わった「心の通じ合う介護」を一人でも多くの学生へ伝えることが私の軸であり、これからもその思いを大切に精進して参ります。

2021年度

新任教職員紹介

チャプレン(准教授) 坂井 悠佳



和泉短期大学が、主なる神様から託されたキリスト教教育の使命を果たしていくために、本学のキリスト教信仰に仕えるチャプレンの務めを与えられました。大変重い務めですが、神様から与えられたことだと信じて、神様のお守りと皆様のお祈りのうちに励んで参りたいと存じます。どうぞ宜しくお願いいたします。

学生の皆さんが、神様の愛に育まれ、キリストの愛と奉仕の精神に満ちた保育者・福祉従事者へと導かれますように、お祈りいたします。

准教授 中安 恆太



4月より准教授として着任致しました。元児童養護施設職員という経験を活かし、主に社会的養護に関連する科目を担当します。和泉短期大学は、児童養護施設職員養成のルートがあるため、児童福祉系科目を担当する責任の重さを実感しております。コロナ禍において社会が大きく変動する時期ではありますが、和泉のスクールモットーである「愛と奉仕」を実践できる保育者の養成を使命として精進して参ります。どうぞよろしくお願い致します。

専任講師 吉田 久仁子



子どもの個性や多様性を認め対応することが求められる中で、「保育と福祉」この両方の学びはとても重要であると考えます。約10年前の東日本大震災・原発事故、被災経験からの教訓です。すべての子どもに寄り添い、信頼される保育者養成をめざす和泉での学びに、幼稚園・保育園・小規模保育園・認定こども園、各施設での幼稚園教諭・保育士、また園長としての経験が教育の場で連動できるような努めてまいりたいと存じます。

助教 安西 美咲



今年度より、和泉短期大学実習サポートセンターに着任致しました。私はこれまで、地域福祉に携わるソーシャルワーカーとして働き、「子どもの育ちを地域でどのように支えるか」という視点で地域の方々と一緒に考えてきました。これからは、その育ちを専門職として支援する「保育者」の養成に携わることとなります。その責任を自覚し、皆様からご教授賜りながら、学生が有意義な学びを得られるようサポートしていきたいと考えております。どうぞ宜しくお願い致します。

学情情報ユニット ICT支援者 高橋 明紀



今年度より、学術情報ユニットにてICT支援者として勤務させていただきます。

広報渉外ユニット 片野 栞



今年の3月まで市内の認定こども園にて5年間幼稚園教諭として勤めており、今年度よりご縁があり和泉短期大学で勤めさせていただくことになりました。現場で経験したことを踏まえ、保育者としての楽しさ、和泉短期大学の魅力を生生さんや高校生、多くの人に伝えていきたいと思っております。私自身も共に学び、日々精進して参りますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

学生支援ユニット 健康管理センター 看護師 後藤 沙也香



6月より健康管理センターにて勤めております。以前は、大病院の小児内科病棟で勤務、その後は保育園の看護師をしていました。学生の皆さんが、安心して学校に通い、学ぶ事のできる保健室づくりをしたいと思っております。至らない点もありますので、どうぞよろしくお願い致します。

しております。新型コロナウイルスの影響により、教育現場では急速にオンライン化が進んでおりますが、あらゆる変化に柔軟に対応し、先生方により良い環境で安心して授業を行っていただけるよう、日々精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

人事

- 1. 退職** (2021年3月31日付)
 - 櫻井 奈津子 教授
 - 西田 恵一郎 教授
 - 平沼 晶子 准教授
 - 渡部 美佳 助教(契約)
 - 松倉 理沙 広報渉外ユニット(契約)
 - 2. 退職** (2021年5月31日付)
 - 河野 徳美 学生支援ユニット 健康管理センター看護師(非常勤)
 - 3. 就任** (2021年4月1日付)
 - 大下 聖治 和泉短期大学副学長・認証評価連絡調整責任者(ALO) 副学長・部長職・主任職 任期(2021年4月1日)2023年3月31日)
 - 松浦 浩樹 教務部長
 - 鈴木 敏彦 地域連携推進センター長・図書館長
 - 横川 剛毅 宗教部長
 - 松山 洋平 入試広報部長
 - 山本 美貴子 学生部長
 - 矢野 由佳子 実習サポートセンター長
 - 佐藤 美紀 専攻科介護福祉専攻主任
 - 4. 任用** (2021年4月1日付)
 - 武石 宣子 特任教授
 - 佐久間志保子 特任教授(専攻科介護福祉専攻)
 - 坂井 悠佳 特任准教授(専攻科介護福祉専攻)
 - 中安 恆太 准教授・チャプレン
 - 久仁子 専任講師
 - 安西 美咲 助教(契約)
 - 高橋 明紀 学生支援ユニット 健康管理センター看護師・認定心理士(契約)
 - 高橋 明紀 学情情報ユニット ICT支援者(契約)
 - 十時 愛美 教育・学習支援ユニット(実習担当)(契約)
 - 片野 栞 広報渉外ユニット(契約)
 - 5. 任用** (2021年6月3日付)
 - 後藤 沙也香 学生支援ユニット 健康管理センター看護師(非常勤)
 - 6. 昇任** (2021年4月1日付)
 - 松山 洋平 教授
 - 八代 陽子 准教授
 - 平塚 豊 事務局次長
 - 7. 配置** (2021年4月1日付)
 - 土橋 正文 事務局長兼庶務ユニット(経理担当・施設担当)リーダー
 - 平塚 豊 事務局長兼庶務ユニット(経理担当)兼広報渉外ユニット(リーダー) 庶務ユニット(庶務担当・施設担当)リーダー
 - 8. 休職** (育児休業)
 - 前島 麻衣 助手
- 表彰**
- 第10回2020年度ベストオブスタッフ賞**(事務局長賞)
 - 十時 愛美 教育・学習支援ユニット(実習担当)
 - 天野 莉那 広報渉外ユニット**永年勤続**(30年)
 - 佐藤 守男 第8代学長・教授**永年勤続**(15年)
 - 佐藤 美紀 准教授

— 2020年度決算書概要説明 —

厳しさを増す運営状況

2021年5月28日(金)開催の理事会、評議員会において2020年度決算が承認されました。

2020年度決算の概要を説明いたします。学校法人会計の計算書類は、資金繰りの状態を表す「資金収支計算書」、経営状態を表す「事業活動収支計算書」、財政の安全性を表す「貸借対照表」により表示し、私立学校法第47条及び学校法人会計基準第4条に定められた規則に基づき作成しています。

本法人の財務に関する公表は、「財務計算書に関する書類」とともに、決算書の概要として、資金収支決算概要、活動区分資金収支決算概要、事業活動収支決算概要、貸借対照表決算概要を公表します。

資金収支計算書は、当該年度中の全ての資金の流れを表示した計算書です。資金収入合計は640,696千円です。これに対し資金支出合計は1,260,291千円です。619,595千円支出超過です。

2020年度末支払資金である翌年度繰越支払資金(現金預金)は1,284,569千円で、前年度繰越支払資金(現金預金)1,904,164千円に比べて資金収支差額は、619,595千円減少しました。

現金預金減少の主な要因は低金利下のため、現金預金から金銭の信託に500,000千円預け替えたことによります。

事業活動収支計算書は、当該年度の学校法人の収入及び支出の均衡状況を明らかにし、学校法人が健全であるかを示す計算書です。3つの収支区分(①教育活動収支、②教育活動外収支、③特別収支)から構成されています。

經常収入(教育活動収入588,786千円と教育活動外収入20,639千円)609,425千円の77%を学納金に依存しているため、学生数の減少は、本法人の運営に甚大な影響を及ぼすこととなります。事業活動収支差額(基本金組入前当年度収支差額)△108,745千円から第1号基本金3,935千円と第3号基本金1,669千円の合計額5,604千円を基本金に組入れた後の当年度収支差額は114,349千円支出超過でした。

教育活動支出の大半を占める人件費は、393,304千円で人件費比率は、64.5%です。教育研究経費は207,420千円、管理経費は119,982千円でした。

3つの区分の合計額である事業活動収入計は612,422千円、事業活動支出計は、721,167千円でした。

2020年度はコロナ禍による感染拡大防止等のために予備費から支払報酬手数料他に3,753千円使用しました。

貸借対照表は、2020年度末における当法人の資産の部、負債の部、純資産の部の3つの要素から構成され、学校法人の財政状態を明らかにする計算書です。有形固定資産の土地、建物、構築物、機器備品等については、取得価額から減価償却累計額等を控除した金額で表しています。

資産の部合計は、8,374,024千円です。退職給与引当金と前受金が大部分を占める負債の部合計は、357,261千円です。基本金と繰越収支差額で構成されている純資産の部合計は、8,016,763千円です。負債の部合計と純資産の部合計は、8,374,024千円です。

— 2021年度予算書概要説明 —

厳しい予算編成

2021年3月19日(金)評議員会、理事会において2021年度予算が承認されました。計算書類の予算書は、資金収支予算書と事業活動収支予算書で構成されます。

2021年度予算計算書類の概要を説明いたします。資金収支予算書の資金収入合計は、747,425千円、資金支出合計は979,794千円です。資金収支差額は、232,369千円支出超過になる見込みです。これは、その他の支出として現金預金から特定資産に指定金銭信託等として151,267千円の預け替えを予定

していることが大きな要因になっています。事業活動収支予算書は、教育活動収支、教育活動外収支、特別収支の3つに区分され、区分ごとに収支差額を求めます。3つの区分の合計額である事業活動収入計は703,172千円です。基本金組入額合計は、3,536千円です。事業活動支出計は、予備費30,000千円を含め823,627千円です。2021年度事業活動収支差額は、120,455千円支出超過になり、大変厳しい予算編成になっています。

学校法人和泉短期大学の財政見通しについて

少子化による18歳人口の減少、保育者養成校の増加、受験生の4年制大学志向、2020年度高大接続改革等、本学を取り巻く経営環境は年々急速に変化しています。

本学は、經常収入の77.0%を学納金に依存している現状において、入学者の定員確保、離学者の防止は喫緊の課題となっています。

2020年度はコロナ禍ではありましたが、3号館の外壁防水塗装及び屋根補修工事、3号館大型チラー2台取替更新工事、1号館・3号館受変電設備内高圧コンデンサー、ブレーカー取替更新工事、窓枠サッシカバー工法漏水対策工事等を行いました。

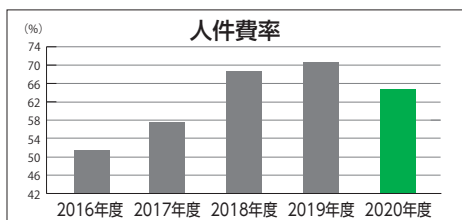
2021年度は、小教室ブラインド取替更新工事、LED照明器具への取替更新工事、3号館女子トイレ改修工事、デジタル化への対応経費(電子決裁システム、web出願)等を行います。

相模原市に移転後45年が経過し、校舎等の計画的な修繕計画及び教育の質保証と可視化のためのICT機材の整備、教育研究活動の維持向上を図るために教育環境の整備計画と経費削減をはじめとした経営の効率化とのバランスを保ち、一層の財政基盤の強化を図って参ります。

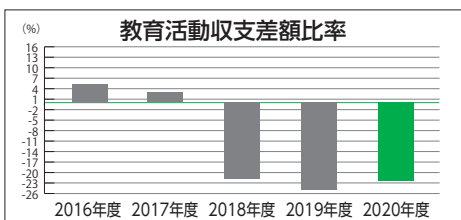
伊藤忠彦新理事長による「2021年度学校法人和泉短期大学の基本構想」は、3つ柱として1. 建学の精神とスクールモットーに基づく教育の明確化、2. 地域密着型の短期大学として地域連携活動の強化、3. ガバナンスとコンプライアンスの確立を中心に事業展開をして

参ります。また、2020年度から改正私立学校法の施行に伴い、学校法人和泉短期大学第2次中期計画15のビジョン(2020年度～2024年度)を策定し、評議員会、理事会で承認されています。新型コロナウイルス感染拡大により先行き不透明な時代の中で、年々厳しさを増している経営状況下ではありますが、本学の教育環境を整備充実させていくために、2021年度も引き続き「教育環境充実資金募金」と本学独自の給付型奨学金「愛のいずみ基金奨学金」の募金活動を行います。そして、中期計画にあるように、2022年度収容定員の変更による学則変更を文部科学省に届け出ました。本学のさらなる発展を目指して今後「出るを制して、入るを計る」ことを原則とし、日頃から業務改善と経費削減に取り組み、入念に効率的にそして慎重に予算を執行し資金の有効活用に努めます。建学の精神である「キリスト教信仰に基づく教育と人格形成」、スクールモットーである「愛と奉仕」に基づいた本学の特色のある教育を展開し、学生にとって居心地の良い明るいキャンパス、地元密着型、実力養成型の短期大学を目指して教職員、法人関係者一体となり努力して参ります。事務局長 土橋 正文

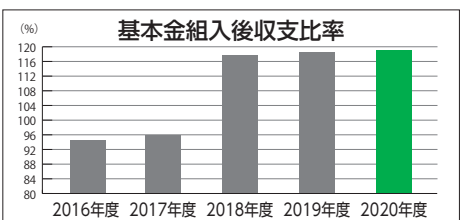
— (2016年度～2020年度) 財務比率推移(グラフ)と説明 —



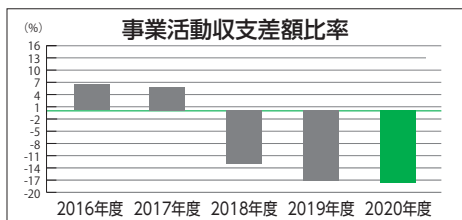
經常収入に対する人件費の割合。50%以内が目安です。人件費は、經常支出の中でも最大の比重を占める支出です。人件費が膨らみ収支状況が悪化していますが、2020年度は若干緩和されました。



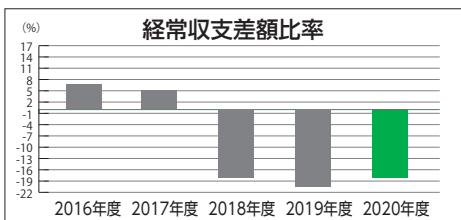
本業である教育活動の収支バランスを表す比率。学校本来の教育活動による収支差額を表わして、本業である教育活動収入の範囲内でどの程度余裕を持って運営できているかを把握することができます。



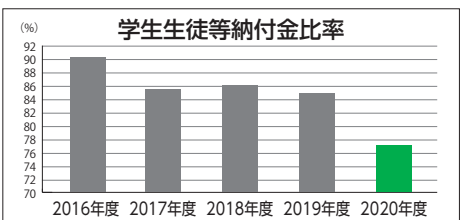
事業活動収入から基本金組入額を控除した額に対する事業活動支出が占める割合を示す比率。90%以上になると経営が困難になると言われています。臨時的な固定資産の取得等による基本金組入が著しく大きい年度において、一時的に上昇する場合があります。この3年間は学納金減収により、100%を超えています。



旧帰属収支差額比率。学校法人の純利益を表わす、重要な財務比率です。比率がプラスで大きいほど自己資金が充実しています。プラス分から将来の施設設備の取替更新の余裕を示します。マイナスが何年も継続して行くと経営は窮乏し、資金が枯渇します。10%以上を経営安定の指標にしています。この3年間はマイナスの状況です。



經常的な活動に関する収支バランスを表す比率。この比率は、臨時的な収支を考慮しない通常の事業活動による収支バランスを示す比率のため、支出超過の場合は財政がひっ迫していることを表しています。支出超過分が、減価償却額の範囲内であれば、資金ショートを起こすことはありません。経営の健全性を表す指標です。



經常収入に占める学生生徒等納付金収入の割合です。經常収入に占める学生生徒等納付金への依存度が高いため、学生数の減少は、経営に甚大な影響を及ぼすため補助金、その他の収入の増額を語る必要性があります。2020年度は、給付型奨学金の補助金増収により低下しています。

— 資金収支計算書概要 —

2020年度決算・2021年度予算

収入の部

(単位：千円)

科 目	2020年度決算額	2021年度予算額
学生生徒等納付金収入	469,342	491,060
手数料収入	7,141	7,158
寄付金収入	2,740	1,000
補助金収入	73,648	89,635
国庫補助金	73,578	89,561
地方公共団体補助金	70	74
資産売却収入	0	0
付随事業・収益事業収入	16,406	21,191
受取利息・配当金収入	20,639	19,950
雑収入	22,506	73,178
前受金収入	165,330	145,700
その他の収入	28,040	137,766
資金収入調整勘定	△ 165,096	△ 239,213
資金収入合計	640,696	747,425
前年度繰越支払資金	1,904,164	1,284,569
収入の部合計	2,544,860	2,031,994

支出の部

(単位：千円)

科 目	2020年度決算額	2021年度予算額
人件費支出	397,535	464,054
教育研究経費支出	152,953	168,117
管理経費支出	113,185	109,440
施設関係支出	20,280	103,121
設備関係支出	3,044	1,016
資産運用支出	571,880	151,267
その他の支出	15,820	21,207
[予備費]		30,000
資金支出調整勘定	△ 14,406	△ 68,428
資金支出の部合計	1,260,291	979,794
翌年度繰越支払資金	1,284,569	1,052,200
支出の部合計	2,544,860	2,031,994
資金収支差額	△ 619,595	△ 232,369

— 事業活動収支計算書概要 —

2020年度決算・2021年度予算

(単位：千円)

科 目	2020年度決算額	2021年度予算額
事業活動収入の部		
学生生徒等納付金	469,342	491,060
手数料	7,141	7,158
寄付金収入	2,740	1,000
経常費等補助金	70,651	89,635
付随事業収入	16,406	21,191
雑収入	22,506	73,178
教育活動収入計	588,786	683,222
事業活動支出の部		
人件費	393,304	457,886
専任教員給	199,405	196,349
兼任教員給	10,046	12,962
専任職員給	158,697	174,614
兼任職員給	9,794	9,737
役員報酬	3,650	3,720
退職給与引当繰入額	7,130	58,192
退職金	4,582	2,312
教育研究経費	207,420	218,795
(減価償却額)	54,460	50,678
管理経費	119,982	116,946
(減価償却額)	7,473	7,506
(広報宣伝費)	19,970	21,194
教育活動支出計	720,706	793,627
教育活動収支差額	△ 131,920	△ 110,405
外収支		
動事業収入	20,639	19,950
教育活動外収入計	20,639	19,950
教育活動外支出計	0	0
教育活動外収支差額	20,639	19,950
経常収支差額	△ 111,281	△ 90,455
特別収支		
資産売却差額	0	0
その他の特別収入	2,997	0
特別収入計	2,997	0
資産処分差額	461	0
その他の特別支出	0	0
特別支出計	461	0
特別収支差額	2,536	0
[予備費]		30,000
基本金組入前当年度収支差額	△ 108,745	△ 120,455
基本金組入額合計	△ 5,604	△ 3,536
当年度収支差額	△ 114,349	△ 123,991
前年度繰越収支差額	2,752,869	2,638,520
基本金取崩額	0	0
翌年度繰越収支差額	2,638,520	2,514,529
事業活動収入計	612,422	703,172
事業活動支出計	721,167	823,627
事業活動収支差額(基本金組入前当年度収支差額)	△ 108,745	△ 120,455
事業活動収支差額比率(旧帰属収支差額比率)	-17.8%	-17.1%

— 2020年度 貸借対照表概要(2021年 3月31日) —

(単位：千円)

資産の部			
科 目	2020年度末	2019年度末	増 減
固定資産	7,063,622	6,537,813	525,809
有形固定資産	2,803,409	2,842,419	△ 39,010
土地	1,928,418	1,928,418	0
建物	753,202	781,302	△ 28,100
構築物	7,051	9,851	△ 2,800
教育研究用機器備品	26,237	33,390	△ 7,153
管理用機器備品	3,850	5,228	△ 1,378
図書	84,651	84,230	421
特定資産	3,007,537	2,949,868	57,669
第2号基本金引当特定資産	100,000	100,000	0
第3号基本金特定引当資産	337,537	335,868	1,669
減価償却引当特定資産	2,043,000	1,980,000	63,000
退職給与引当特定資産	167,000	174,000	△ 7,000
施設拡充引当特定資産	360,000	360,000	0
その他の固定資産	1,252,676	745,526	507,150
電話加入権	690	690	0
施設利用権	185	246	△ 61
金銭の信託	500,000	0	500,000
定期預金	739,900	732,900	7,000
積立保険金	11,901	11,690	211
流動資産	1,310,402	1,920,738	△ 610,336
現金預金	1,284,569	1,904,164	△ 619,595
未収入金	22,186	13,595	8,591
貯蔵品	3,647	2,978	669
立替金	0	1	△ 1
資産の部合計	8,374,024	8,458,551	△ 84,527

(単位：千円)

負債の部			
科 目	2020年度末	2019年度末	増 減
固定負債	170,081	174,312	△ 4,231
退職給与引当金	167,531	171,762	△ 4,231
預り敷金	2,550	2,550	0
流動負債	187,180	158,730	28,450
未払金	14,406	8,820	5,586
前受金	165,330	142,910	22,420
預り金	7,444	7,000	444
負債の部合計	357,261	333,042	24,219
純資産の部			
基本金	5,378,244	5,372,640	5,604
第1号基本金	4,890,707	4,886,772	3,935
第2号基本金	100,000	100,000	0
第3号基本金	337,537	335,868	1,669
第4号基本金	50,000	50,000	0
繰越収支差額	2,638,519	2,752,869	△ 114,350
翌年度繰越収支差額	2,638,519	2,752,869	△ 114,350
純資産の部合計	8,016,763	8,125,509	△ 108,746
負債の部、純資産の部	8,374,024	8,458,551	△ 84,527

注記 1. 減価償却額の累計額の合計額 2,086,423千円
 2. 翌会計年度以降の基本金への組入額 0千円

2021年度 和泉短期大学「愛のいずみ基金奨学金」(給付型奨学金)のお願い

学校法人和泉短期大学の原点であるララ物資の精神を引き継ぐために本学教職員・法人関係者の方々からの寄付を中心とした本学独自の給付型奨学金基金を2018年度より設立しました。

現在の社会・経済環境が甚だ厳しい状況にあります。本学独自の愛のいずみ奨学金基金の趣旨をご理解のうえ、和泉短期大学の学生の支援充実のため、一人でも多くの方々のご支援、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

募金目標金額 3,000,000円
募金募集期間 2021年6月～2022年3月(第4期)
募金金額 1□5,000円
払込方法 郵便振替口座
 □座番号 00280-6-105705
 □座名 学校法人 和泉短期大学
 愛のいずみ基金奨学金

寄付者一覧(敬称略) <2021年4月1日～2021年7月31日>

井狩 芳子/池田 悦子/潮田 健治/片山 知子/岸川 洋治/雑賀えり子/佐藤 蘭美/佐藤 守男/武石 宣子/松田 壯吾/山本美貴子/
 匿名希望(4件) 以上15件 460,000円

所得税・住民税の寄付控除

本法人への募金(寄付金)につきましては、年間2,000円を超える金額に対して、確定申告をすることにより所得税及び住民税の寄付控除を受けることができます。

法人募金の場合

法人からの募金(寄付金)につきましては、日本私立学校振興・共済事業団を通じて、「受配者指定寄付金」として全額損金算入することができます。詳しくは下記までご連絡ください。

問合せ先 学校法人 **和泉短期大学** 庶務ユニット(経理担当)
 042-754-1133

2021年度「教育環境充実資金募金」のお願い

学校法人和泉短期大学は1956年4月東京都世田谷区中町に「バット博士記念養成所」を開設し、同年5月「現任訓練講習会」を開催したことに始まります。1960年、その現任訓練機関が「玉川保母専門学院」となり、1965年に「和泉短期大学」が設立され、2021年5月に学校法人和泉短期大学は創立65年を迎えました。

学校法人和泉短期大学を卒業された卒業生は19,623名の方々の働きや努力と活躍により発展成長したものと深く感謝申し上げます。次第であります。

和泉短期大学は、教育の充実を図り、学修環境整備、施設設備の維持整備を目的に2021年度も「教育環境充実資金募金」を行うことになりました。

みなさまには出費多難な折とは存じますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

募金対象事業

- 1号館 教室ブラインド交換工事
- 1号館 教室照明器具 LED電球交換工事
- 1号館 小教室 ウイルス除去防臭装置設置工事

寄付者一覧(敬称略) <2021年4月1日～2021年7月31日>

井狩 芳子/池田 悦子/片山 知子/岸川 洋治/雑賀えり子/佐藤 蘭美/佐藤 守男/武石 宣子/松田 壯吾/山本美貴子/匿名希望(4件)
 以上14件 450,000円

募金目標金額 10,000,000円
募金募集期間 2021年6月1日～2022年3月31日(第10期)
募金金額 1 個人 1□ 5,000円
 2 法人 1□ 10,000円

所得税・住民税の寄付控除

本法人への募金(寄付金)につきましては、年間2,000円を超える金額に対して、確定申告をすることにより所得税及び住民税の寄付控除を受けることができます。

法人募金の場合

法人からの募金(寄付金)につきましては、日本私立学校振興・共済事業団を通じて、「受配者指定寄付金」として全額損金算入することができます。

詳しくは下記までご連絡ください。

問合せ先 学校法人 **和泉短期大学** 庶務ユニット(経理担当)
 042-754-1133

2021年度 夏の工事について

夏期休業期間中に下記の通り工事を実施します。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力を宜しくお願いします。

工事名	場所	実施時期	内容	実施会社
1 トイレ改修工事	3号館2階 女子トイレ	2021.8.10～ 8.13	・洋式1台、和式3台の大便器のうち和式3台を全て洋式に取替更新し、洋式4台全ての便座にウォシュレットを取り付ける。 ・洗面器2台に設置している手動式水栓を全て自動式に取替更新し、自動水石鹸器2台を新たに取り付ける。(コロナウイルス対策)	第一工業(株)
2 照明器具取替工事	1号館小教室 (6部屋)	2021.8.10～ 8.13	・照明器具を高効率照明設備(LED照明)に交換する。 ・2年計画で取替更新し、2021年度は小教室(6部屋)を実施し、2022年度に大教室(8部屋)を実施する。 ・相模原市の補助制度を利用する。	(株)成川電興
3 エアコン取替工事	1号館210教室	2021.8.10～ 8.11	・設置から16年が経過し経年劣化により老朽化しているため交換する。	(株)ヤマダデンキ
4 受変電設備内 コンデンサー及び ブレーカー取替工事	2号館受変電設備	2021.8.13	・高圧進相コンデンサー(1台)及びブレーカー(9台)が設置から30年経過し老朽化しているため交換する。	シーエスイー(株)

夏期一斉休暇期間 8月7日(土)～15日(日)

庶務ユニット(施設担当)